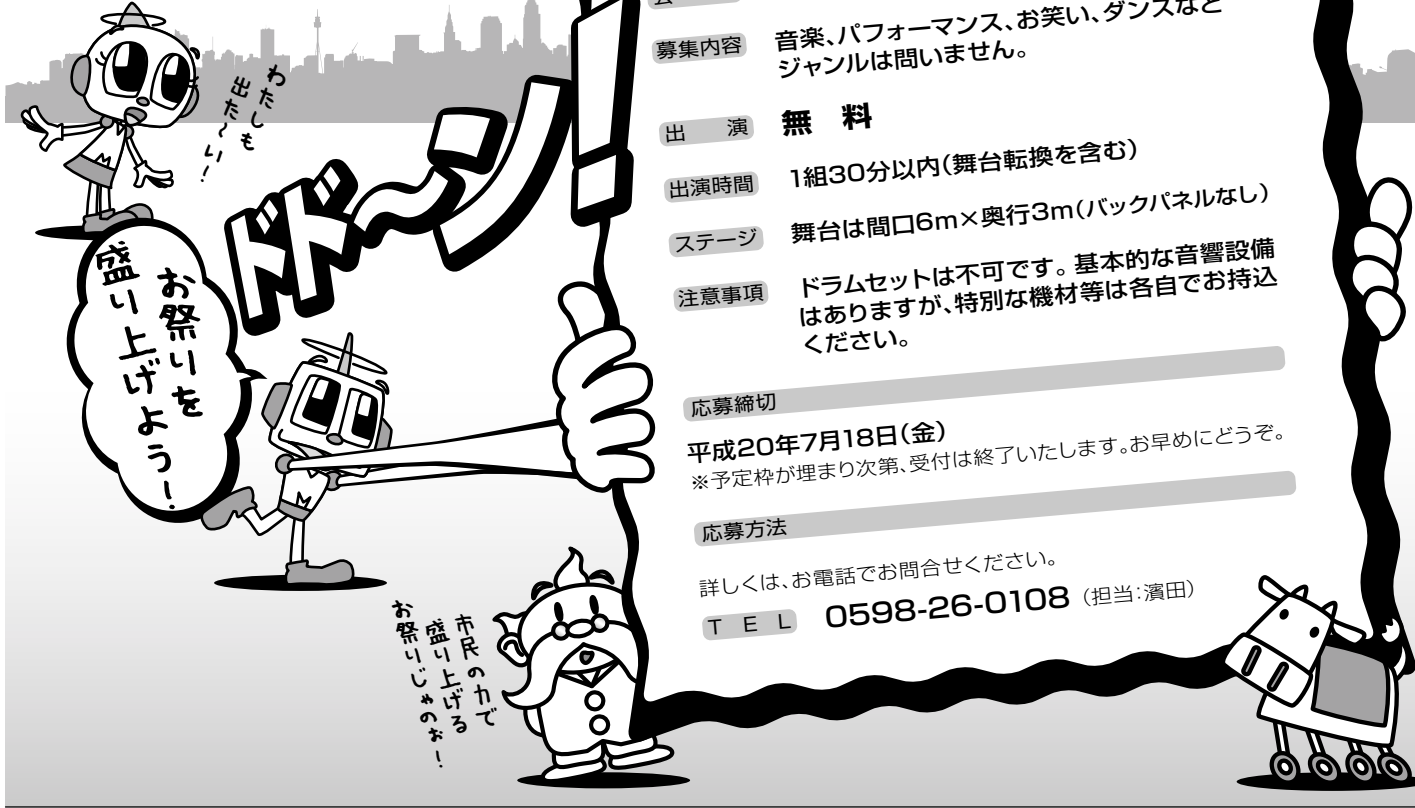


「七夕まつり・鈴の音市」市民ステージ出演者募集!!

16回目を迎える「鈴の音市」では、地域住民が気軽に参加できる「市民ステージ」の出演者を募集中です。音楽、パフォーマンス、ダンスなどジャンルは問いません。市民活動団体の発表、本気ライブなどで一緒に楽しみましょう!

概要
日時 平成20年8月2日(土) 17時~21時
会場 松阪市中心市街地(屋外イベント)
募集内容 音楽、パフォーマンス、お笑い、ダンスなどジャンルは問いません。
出演 無料
出演時間 1組30分以内(舞台転換を含む)
ステージ 舞台は間口6m×奥行3m(バックパネルなし)
注意事項 ドラムセットは不可です。基本的な音響設備はありますが、特別な機材等は各自でお持込ください。
応募締切 平成20年7月18日(金)
 ※予定枠が埋まり次第、受付は終了いたします。お早めどうぞ。
応募方法 詳しくは、お電話でお問合せください。
TEL 0598-26-0108 (担当:濱田)



ブンカ交流館 ニュース 知 楽 学 創 伝 成 臨 遊

7月開講ブンカの交流館 受講生募集中!!

今年4月より講師募集をしていました「ブンカの交流館」ですが、いよいよ7月1日より開講することとなります。昨年10月より開講いたしました「ブンカの交流館」は、駅前商店街ベルタウン2階の空き店舗を利用した「まちづくり型カルチャースクール」という位置づけの文化教室で、今年2月にひとまず終了しましたが、好評につき7月より第二期のスタートです。
 気になる講座は42種類。語学、資格取得、スポーツ、ダンス、音楽、趣味、アートなど多種多様。ご自身のスキルアップ、知識の向上、健康増進、趣味の拡張など習ってみたい講座が満載です。今すぐブンカの交流館事務局へ総合チラシを請求していただきチェックしてくださいね。
 なお、インターネットなら各講座の詳しい内容もご覧いただけます。松阪市市民活動センターのホームページから「ブンカの交流館」のバナーをクリック。すべての講座をご覧いただけます。
 この夏は「ブンカの交流館」で様々な講座を受講して、「人」や「まち」と交流してみたいかがでしょうか? 「新しいまち」の再発見にもなるかも?

総合チラシの請求先 → ブンカの交流館事務局 0598-23-8400 (濱田)
ホームページ → http://www.m-bridge.jp/bunka/index.html



おすすめ書籍紹介

食卓と畑をつなぐもの

私たちを支える「食」について、以前より強く意識することが増えています。中国ギョーザ、穀物相場の上昇、自給率の低さ、農業の外国人研修生の受け入れ、食品売場では「産地地消」の文字などをメディアが連日取り上げています。今回は、安心安全な「食」を継続的に供給するための「畑(生産現場)」と「食卓」の間における“未来”を考える書籍を紹介します。

Premium Age (プレミアムエイジ) 2008・5
 編集/株式会社地域創造プランニング
 国産か外国産か。食物の輸送距離を表す「フードマイル」を用い、毎日の食べ物を選ぶだけで地球温暖化に貢献できる仕組み“ポコ”を考えた藤田和芳氏の記事他「生活者・市民で変える『環境問題』特集です/定価450円をセンター窓口にて無料配布中(なくなり次第終了)

むらからの おくりもの たからもの

「こういう時代だからこそ、先人達が大切にしてきた事柄を引き継ぎ、「むらのくらし」を見つめていきたいものです(冒頭より)」農家女性の知恵と技、そして暖かさが満載です。読めばきっと「おばちゃん」や「農業」が恋しくなりますよ。

食の細道/日経ビジネス

日本の食料自給率39%。この数字は日本の「食」として本当に「危機」を表すのか。食料自給率の算出方法の解説から、数字の向こうに見える日本の「食と農」における弱みと強みを分析している。「日本の食料ゴミ」を金額に換算すると「農水産業の国内生産額」に等しいという分析は衝撃的です。

文字と文字の隙間を縫う.....チラッと編集後記

今号のAROMA編集集中に完成間際のデータが壊れるという事件が...。一瞬の出来事にパソコンの画面を眺めたまま数秒...。いっきにやる気をなくしました。しかし、悪いことがあれば良いこともあるものです。その日の夜、チラシ講座を受講いただいた方が、現在制作中のチラシを持って来館されました。講座の内容が忠実に再現されたチラシに、涙が出そうなくらい嬉しくなり、無くしたやる気は、2倍になって帰ってきました。その後の仕事は、まさに2倍速。私って単純ですかね。【S】

松阪発信!! 市民活動の情報紙〜アロマ 発行は8月中旬頃です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回原稿締切は2008年7月31日(木)です。 担当/澤・林

松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜～土曜日/10:00～22:00
TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

会議室 大会議室.....机 10 椅子 30 (600円) **機材等** 印刷機(紙持込) / コピー機
 小会議室 1...机 4 椅子 12 (150円) マイク / プロジェクター 他
 小会議室 2...机 6 椅子 18 (200円) 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。
 小会議室 3...机 4 椅子 12 (150円) **利用申込** 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ <http://www.katsudou.com>
 ▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報) <http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>
 ▼ 市民活動情報サイト(携帯版) <http://genki365.net/gnkm/i/>
 ※ドメイン指定受信を設定されている方は「ma.genki365.net」を受信できるように指定してください。

書籍の森

ご協力ありがとうございます。
 引き続き書籍の寄贈を募集中です。

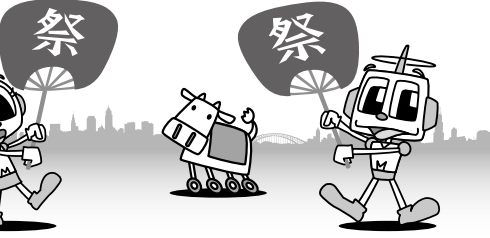
松阪市市民活動センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。
 【募集書籍】NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

センターからのお知らせ

◎センター休館のお知らせ

下記の祭り当日は例年通り休館日とさせていただきます。

- ・ 祇園まつり 7月12日(土)・13日(日)
- ・ 七夕まつり・鈴の音市 8月2日(土)



松阪発信!! 市民活動の情報紙〜アロマ

AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity No.17

発行...松阪市市民活動センター
 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜～土曜日/10:00～22:00
TEL 0598-25-3801 ▲予約専用 **0598-26-0108**
FAX 0598-25-3803
 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

きっかけは公民館講座

昭和42年の終わり頃、松阪公民館(当時は中央公民館)の講座で、初めて点字の講座が実施された。その時講師を務めたのが、今回お話しを伺った「松阪点訳友の会」の代表、高瀬さんだ。講師である高瀬さんを中心に講座の受講生数名が、この講座で学んだ点字の知識や技術を活かそうと、翌年の昭和43年の4月にこの団体を設立した。そこから点訳の奉仕作業、点訳図書への寄贈、点訳技術指導、視覚障がい者への点字指導等、点字にまつわる様々な活動を続け、今年で40年になる。この間、市や県から多くの感謝状、表彰状を授与される等、その活動に対する評価は高い。ここまで活動を続けてきた理由を尋ねたところ「決して誰かにしてあげているという気持ちではなく、自分が楽しみながらやってきたからこそ、ここまで続けてこれたんだと思います」と、にこやかに答えていただいた。これまで取材させていただいた団体も、市民活動を継続する秘訣を尋ねた時「自分が楽しむ」というキーワードが必ずといって良い程含まれる。しかし、改めて40年という歳月を考えると頭の下がる思いだ。

使命感と適切なサポート

高瀬さんは、昭和32年から点訳に取り組んでいた。当時は点字盤でひとつひとつ点字を打っていた。慣れれば30分程度で1ページの点訳が可能だが、それでも多大な労力を要した。今でこそパソコンが普及し点訳ソフトもあるが、当然のことながら点訳独特のルールや知識が必要となる。それでも「自分の携わった点訳冊子が仕上がった時の喜びや満足感は何ものにも代え難い」と笑顔で語る。団体が点訳するのは小説等の冊子だけではない。ゴミの日割り表や電車等の時刻表も点訳される。「こうした生活に密着した物は、一日でも早く仕上げるよう努力しています」という言葉からは、この活動に対する使命感を感じる。また、高瀬さん達は視覚障がい者に対し過剰な手助けはしていない。下手に気遣うのではなく、本当に出来ないところだけをサポートして、障がい者の自立心の上を意識しながら進める。障がい者への点字指導、また、点字の普及には、こうした人達の気持ちを理解し接することから始まるように思う。この活動にとって一番重要で大切な要素だろう。

生涯続けられる趣味や活動を見つけること

市民活動やボランティアに携わる人達には「私達がやってあげている」といった態度や、言動を口にする人はいないだろう。なぜならその活動自体、本人にとっては当たり前な行為であり、当然、自惚れた意識もないからだ。ただ、自らが掲げたミッションを遂行するための努力を惜しむことはない。市民活動やボランティア等は、使命を持った「生き方」であるように思う。地元の学校で「何か一つ、生涯続けられる趣味や活動を」と、講師として話す高瀬さんの言葉には「生き方」から経験し、学んだ説得力がある。点訳という、生涯続けたことのある活動を見つけた高瀬さんからは、イキイキとした笑顔がこぼれる。この団体では今後も引き続き点訳活動を続けることはもちろん、より地域に密着した活動を心がけ、視覚障がいを持つ人達の理解を広めたい考えた。今現在仕事一筋の会社員でも、定年後の人生を考える時間はたっぷりある。学生であれば尚更だ。今後の自分の人生に考えを巡らせ、何か一つ継続出来る趣味や活動に出会うことが出来たなら、それは幸せなことではないだろうか。

生きた言葉を楽しむ

点字は縦に3つ並んだ点を2列並べた6つの点の組み合わせで成り立っている。基本となる点の組み合わせは63通りあり、かな50音、数字、アルファベットなど様々な文字を表すことが出来る。しかし、漢字は全て「かな」に置き換えなければならない。この活動で、何が一番難しいのか。あるいは、神経を使わなければならないのか。それは「漢字の読み正確さ」だ。地名や人名などはその代表だ。例えば漢字で「松阪」と表すことが出来ても読み手によって「まつさか」と読んだり「まつざか」と読んだりする。点訳する図書の内容によっては、わざと方言を使う場合も出てくる。文字の読み方の正確さと、内容に合わせて的確な言葉を選ぶセンスも必要となるのだ。言葉は常に進化している。正しい言葉を正しく伝えることを日頃から意識し、情報を得なければならない。「これは日本語独特の難しさでもあり、逆に面白さでもあると思います。言葉を調べることで、自分の知識が増えることも楽しみのひとつなんです」と話す高瀬さんは、今の時代の生きた言葉に敏感に反応するアンテナを持っているようだ。



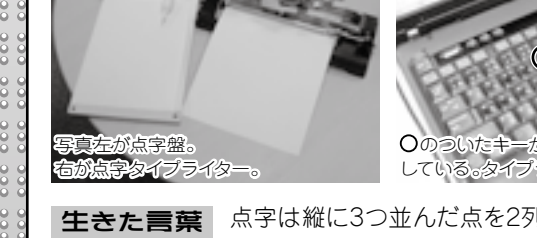
松阪点訳友の会 代表の高瀬さん 10年以上前からパソコンで点訳している。

センターからのお知らせ

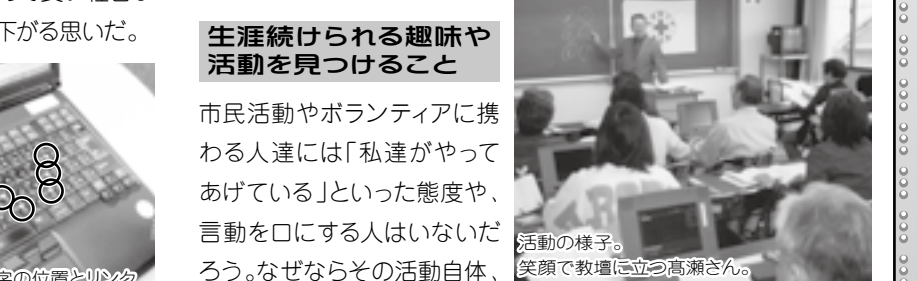
◎センター休館のお知らせ

下記の祭り当日は例年通り休館日とさせていただきます。

- ・ 祇園まつり 7月12日(土)・13日(日)
- ・ 七夕まつり・鈴の音市 8月2日(土)



写真左が点字盤。右が点字タイプライター。



活動の様子。笑顔で教壇に立つ高瀬さん。

生きた言葉を楽しむ

点字は縦に3つ並んだ点を2列並べた6つの点の組み合わせで成り立っている。基本となる点の組み合わせは63通りあり、かな50音、数字、アルファベットなど様々な文字を表すことが出来る。しかし、漢字は全て「かな」に置き換えなければならない。この活動で、何が一番難しいのか。あるいは、神経を使わなければならないのか。それは「漢字の読み正確さ」だ。地名や人名などはその代表だ。例えば漢字で「松阪」と表すことが出来ても読み手によって「まつさか」と読んだり「まつざか」と読んだりする。点訳する図書の内容によっては、わざと方言を使う場合も出てくる。文字の読み方の正確さと、内容に合わせて的確な言葉を選ぶセンスも必要となるのだ。言葉は常に進化している。正しい言葉を正しく伝えることを日頃から意識し、情報を得なければならない。「これは日本語独特の難しさでもあり、逆に面白さでもあると思います。言葉を調べることで、自分の知識が増えることも楽しみのひとつなんです」と話す高瀬さんは、今の時代の生きた言葉に敏感に反応するアンテナを持っているようだ。

ナント!三重県最多!

おかげさまで松阪市市民活動センターの登録数が300団体!

当センターの登録団体数が、300団体を突破しました～! 皆様の日頃からのご支援とご利用のおかげです。誠にありがとうございます。

登録数が300になることを目標にしつつ、地道に、そして一步一步、広報活動を続けてまいりました! ケーブルテレビでの番組自主制作、地域の祭り出店、リーフレット刷新、そしてこのアロマもそうですが、伝わりにくいと言われてきた「市民活動」を親しみやすく、関わりやすくするために、多くの広報や事業を実施中です。その成果もあり、登録制の市民活動センターの中で、松阪が三重県内で一番の登録数にまで成長することができました! 「数=評価」とお伝えするつもりではありませんが、少ないよりは多いに越したことはありません。多いことで「交流」や「連携」のチャンスも広がりますから。ちなみに2番目に多いのは津で273団体のようです。津の人口は29万人。登録数と人口から算出した指数で比較すると、津を「100」とした場合、松阪は17万人ですので「187」の指数となります。今後も、民営の良さを活かし、力をゆるめることなく、市民活動の推進に力を入れてまいります。皆様、ありがとうございます。今後ともよろしくおしいいたします。(正式登録承認日は次回の運営委員会です)

インターンシップ講演

6月11日、松阪商業高校で当センターの米山が講演を行ないました。この講演は松阪商工会議所のインターンシップ受入事業所確保支援事業の一環として、例年この時期に実施されています。市民活動センターの運営を指定管理者が行なうようになって以降、毎年、連携しており、今年で3回目となりました。インターンシップとは、学生が企業などで就業体験をできる制度のことで、自分自身にふさわしい職業を事前に見つける効果や、「働く」という意識を高めることに役立っています。現代の課題のひとつとも言われているニート等が増えないようにする効果もあります。地域課題の解決に繋がることでもありますので、前向きに連携させてもらっています! 2年生の195名が熱心に聞いてくれました。皆さん、職業を選ぶ際は改めて自分自身と向き合ってしっかり選んでくださいな。頑張ってください!

今年も開催! 登録団体交流会

今年度も、センターに登録された団体の代表者が集うセンター登録団体交流会が、6月4日(水)に開催されました。今回の交流会では、少しでも多く他団体のことを知ってもらおうと「他己紹介」を導入しました。始めに例として「センタースタッフ他己紹介」を実施。スタッフが横並びになり、持ち時間30秒で隣の人を順次紹介しました。自己紹介では聞けない意外な一面も紹介出来たのではないのでしょうか。続いての「団体他己紹介」のために2団体が1組になるよう、巨大あみだくじを引いていただきました。ペアが決まる度に笑みがこぼれ、各々3分間という限られた時間内に、自らの団体のことを話し、他団体のことを聞き取ることで自然に会話は盛り上がりていきました。その後、30秒でお相手の団体の紹介をしていたいただきました。次に行われた「団体PRタイム」では、イベント告知や団体の詳細など、1分間を充分に使ってPRされていました。伝えきれなかったところは、各々でお菓子をつまみながらお話をされていたようです。最後に、当センタースタッフが制作し、松阪ケーブルテレビで放映中の「だから、市民活動!」の決めゼリフ「だから、市民活動!」を参加者全員で大合唱しました。本年度の交流会も、笑顔が絶えることなく終わることができました。参加者からは「本当に楽しい交流会でした!」と嬉しいお言葉をいただきました。この交流会がキッカケとなり、団体同士の協働が始まることを願っています。

センター長の独り言
おかげさまで登録数が300団体となりました。ご利用の皆様、ご支援、ご指導いただいている皆様に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます!!!!!!

センタースタッフによる「伝える講座」連続開講!!

毎回好評の「書いて伝える文章講座」のその6、その7が、5月20日と6月17日にそれぞれ開講しました。今回はどちらも当センタースタッフが講師を務め、得意分野のノウハウを皆さんにお伝えしました。講座その6は「書く」を「描く」に置き換えた「描いて伝えるチラシ講座～色で勝負～」でした。インパクトのあるタイトル通り、モノクロコピー機、輪転機を使って制作可能な一色チラシのコツを学んでいただきました。パソコンにたよらずに、いかに見栄えのするチラシを作るか等、初心者から経験者まで分かりやすくお伝えしました。今後のチラシ作り、情報発信に役立てていただける講座となったのではないのでしょうか。講座その7は「書いて伝える企画書講座～キカクカク～助成金獲得のための企画書のツボ」でした。過去、実際に採択された企画書を公開する等、多くの具体例を交えた内容の濃い講座となりました。受講いただいた皆さんが、熱心に聞き入りメモをとる姿が印象的でした。助成金獲得に特化した内容でしたが、企画書にまつわるツボは様々な場面で使えるのではないのでしょうか。更に今回の両講座の受講料収益を元に、学生のNPO活動支援事業を実施予定です。お預かりした受講料が、まちづくりサポート費となる「支え合う仕組み」を目指します。学生さんがボランティアを楽しく体験できる場になれば嬉しいですね。

市民活動センターは環境への取り組みも忘れていません!

楽しく省エネ キャンドルナイト

松阪市市民活動センターでは、「100万人のキャンドルナイト」および「環境省・CO2削減/ライトダウンキャンペーン」に賛同し、環境意識啓発に向け取り組みのひとつとして、昨年度を引き続き2年目の「市民活動センター・キャンドルナイト」を実施しました。「100万人のキャンドルナイト」は夏至と冬至の日の夜、8時から10時の2時間みんなで一緒に電気を消し、ろうそくを灯す取り組みです。また「環境省・CO2削減/ライトダウンキャンペーン」は、県内・市内でも多数の企業が参加され、「消灯」という社会貢献を行われたようです。当センターはラウンジの蛍光灯を消灯し、灯りにはキャンドルを使用しました。また、センターの環境に対する取り組みのパネル展示も行いました。ご覧いただけましたか? 施設の役割上、「すべてをキャンドルで…」というようには実施できませんでしたが、ささやかな規模ながらも、身近なところから「楽しく省エネルギーについて考える」きっかけづくりとして実施しました。

今年も開催! 登録団体交流会

今年度も、センターに登録された団体の代表者が集うセンター登録団体交流会が、6月4日(水)に開催されました。今回の交流会では、少しでも多く他団体のことを知ってもらおうと「他己紹介」を導入しました。始めに例として「センタースタッフ他己紹介」を実施。スタッフが横並びになり、持ち時間30秒で隣の人を順次紹介しました。自己紹介では聞けない意外な一面も紹介出来たのではないのでしょうか。続いての「団体他己紹介」のために2団体が1組になるよう、巨大あみだくじを引いていただきました。ペアが決まる度に笑みがこぼれ、各々3分間という限られた時間内に、自らの団体のことを話し、他団体のことを聞き取ることで自然に会話は盛り上がりていきました。その後、30秒でお相手の団体の紹介をしていたいただきました。次に行われた「団体PRタイム」では、イベント告知や団体の詳細など、1分間を充分に使ってPRされていました。伝えきれなかったところは、各々でお菓子をつまみながらお話をされていたようです。最後に、当センタースタッフが制作し、松阪ケーブルテレビで放映中の「だから、市民活動!」の決めゼリフ「だから、市民活動!」を参加者全員で大合唱しました。本年度の交流会も、笑顔が絶えることなく終わることができました。参加者からは「本当に楽しい交流会でした!」と嬉しいお言葉をいただきました。この交流会がキッカケとなり、団体同士の協働が始まることを願っています。

センター長の独り言
おかげさまで登録数が300団体となりました。ご利用の皆様、ご支援、ご指導いただいている皆様に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます!!!!!!

「鈴の音市」を一緒に盛り上げる学生さん募集中!

当センターが中心市街地の真ん中に位置することもあり、市街地の活性化は松阪市市民活動センターの使命と言っても過言ではありませんねえ～。例年、多くの市民活動団体も出店している「鈴の音市」は、すっかり松阪に定着し、人気も高くなってきましたね。今年の開催日は8月2日です。この「鈴の音市」のテーマは、「ふれあい・人の和・にぎわい・まちづくり」です。「お～っ、テーマ全部が当センターも大事に考えていることと同じだ!」ということで、私たちは今年も元気に参画します!

「七まつり鈴の音市」募集記事をもうじっつ

只今、センターのブースを一緒に盛り上げてくれる学生さんを募集中です。ボランティアは体を使うことばかりではありませんよ。「企画を立てるボランティア」と聞いたらどうですか? 面白そうでしょ? 企画立案は社会に出てからも必要とされますので、楽しみながら気軽に参加してみてくださいね。

対象 県内の高校生、大学生
参加費 無料
応募締切 7月18日(金) ※枠が埋まり次第終了
申込方法 E-mailでお申込みください。(携帯メールからでもOK)
件名を「ボランティア体験申込み」とし、「名前・学年・住所・電話番号」を katsudou@ma.mctv.ne.jp へ送信してください。
問合せ 松阪市市民活動センター(担当:米山) TEL 0598-26-0108

「書いて伝える講座」～その8～の講師募集!

文部科学省の委託事業の一環としてスタートし、好評につき独立事業となった「書いて伝える講座」の講師を大募集します。講師経験は問いませんが、原則として「書く」ことで「伝える」技術や知識を身につけてもらえる講座を実施していただきます。開講予定は8月中旬から9月中旬の平日を予定しています。基本的に単発講座を想定していますが、内容により連続講座も実施可能です。詳しい内容はお問い合わせください。

0598-26-0108 (担当:澤)

※公共施設で実施する講座ですので、営利を目的とした講師のご応募はお断りいたします。

me no npo! (メモノポ)

【リサーチ】▶ NPO法人ひとくちメモ「ひとくちmemonpo!!」も早いもので開始して1年が経ちました。そこで!! 読者のみなさまから取り上げて欲しい「ひとくちmemonpo!!」を募集したいと思います。NPO法人や市民活動団体として気になってること、聞いたことがあるけど意味が分からない言葉、専門用語などなど、どんなことでもOKです。メール、お電話などでも構いませんので気軽に教えてくださいな。ということで、今回の「ひとくちmemonpo!!」は「リサーチ」でした(笑) 活動している団体にとって「リサーチ(調査)」って必要なんですよな～。

あ、募集は本当です。お気軽にどうぞ。(担当:濱田)

NPO川柳 第12回

第12回のNPO川柳も、紙面の都合上2作品のみ掲載と致し、誠に申し訳ありません。大量のご応募がございました。申し分ないと思います。お返事はできません。ご了承ください。

くつしたに 穴が開こうが はき続け

匿名希望さん

【募集内容】「NPO」、「ボランティア」、「市民活動」に関する川柳を自由に【対象者】どなたでも応募できます。(NPO関係者以外の方も大歓迎) 【応募方法】件名に「NPO川柳」とご記入の上、左記をメールで送信ください。①句(未発表作品に限ります。複数応募可) ②氏名(雅号、筆名でも可) ③住所、電話番号 【宛先】katsudou@ma.mctv.ne.jp 【締切】平成20年8月31日 必着 【発表】次号の「AROMA」と市民活動センターホームページにて。曾は何もございませんが、悪い川柳でも楽しく伝えて交流しましょう!

※作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は松阪市市民活動センターに帰属するものといたします。 ※応募多数の場合はすべてを掲載できない場合があります。予めご了承ください。